

新たな 中部圏広域地方計画

生活の質が高く持続的に成長する強靱な中部圏

計画原案 概要版

(中部圏広域地方計画協議会報告案)



2026年5月
国土交通省

中部圏広域地方計画

「中部圏広域地方計画」(2016年3月策定)は、中部圏の国土形成の指針として、産学官民により、連携協力した地域づくりが進められてきました。しかし、依然として進行する人口減少、巨大地震の切迫や激甚化・頻発化する自然災害、新型コロナウイルス感染症による社会変容、国際情勢の緊迫など社会情勢が大きく変化しています。さらに、SDGsやカーボンニュートラルなどへの対応のほか、リニア中央新幹線による圏域内外の人流の活性化などの好機を迎えています。こうした経済社会状況の大きな変化にかかわる課題や機会に適切に対応し、中部圏で暮らす人々のWell-being ※ を向上させるための指針として、新たな「中部圏広域地方計画」を策定中です。

※個人の権利や自己実現が保障され、身体的、精神的、社会的に良好な状態にあることを意味する概念。

第1部 中部圏を取り巻く情勢

● 中部圏の特性および現状

- 変化に富んだ地勢と豊かな自然環境
- 現代に息づく歴史、多様性に富んだ文化
- リニア中間駅を始めとした新たな広域圏形成
- 多極分散型の地域構造
- ゆとりある生活環境 など

● 中部圏の課題

- 南海トラフ地震等の切迫性
- 若者・女性の圏外転出
- 訪日外国人対応や観光産業の生産性向上
- 人口減少、少子化・高齢化の進行等
- インフラの老朽化 など

第2部 将来像とその実現に向けた目標、基本的な考え方と主な戦略

● 将来像とその実現に向けた目標

<将来像> 生活の質が高く持続的に成長する強靱な中部圏

第3部 新たな中部圏に向けた主要な施策(広域プロジェクト)

人 目標1 すべての地域が魅力あふれる生活圏の創出	<ul style="list-style-type: none">● 暮らしやすさ地域力向上や地域生活圏形成プロジェクト● 快適・安全安心な生活環境実感プロジェクト● ひとづくりプロジェクト
産業 目標2 ものづくりを礎に世界をリードし続ける産業への進化	<ul style="list-style-type: none">● 世界をリードする産業進化プロジェクト
圏域 目標3 日本中央回廊による効果を最大化する圏域づくり	<ul style="list-style-type: none">● 日本中央回廊まんなか圏域拡大プロジェクト
自然 目標4 自然の恵みの保全と活用	<ul style="list-style-type: none">● 環境・国土サステナビリティプロジェクト
基盤 目標5 強靱な圏土の構築	<ul style="list-style-type: none">● 圏土強靱化プロジェクト
広域連携	<ul style="list-style-type: none">● 新時代の観光交流促進プロジェクト● 他圏域連携プロジェクト

第4部 計画の推進等

- 他圏域との連携
- 多様な主体の参画・協働
- 他計画・施策との連携
- 計画の推進管理

第1部 中部圏を取り巻く情勢

● 中部圏の特性および現状

● 変化にとんだ地勢と豊かな自然環境

● 現代に息づく歴史、多様性に富んだ文化

伊勢神宮(内宮)
＜三重県伊勢市＞



世界文化遺産
白川郷・五箇山の合掌造り集落
＜岐阜県白川村＞



世界文化遺産
富士山
＜静岡県静岡市＞



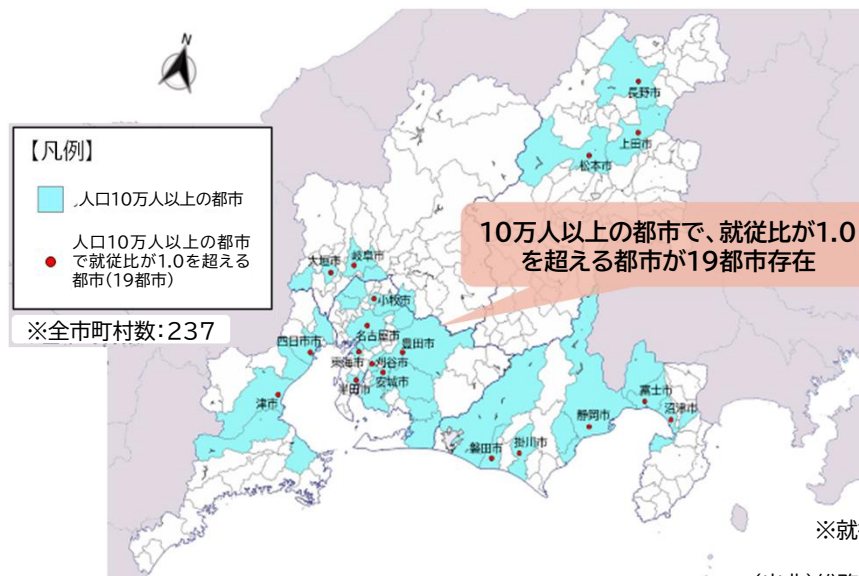
(出典)写真ACを基に中部地方整備局作成

● リニア中間駅を始めとした新たな広域圏形成



(出典)内閣官房「リニア開業に伴う新たな圏域形成に関する関係府省等会議」をもとに作成

● 多極分散型の地域構造



$$\text{※就従比} = \frac{\text{その地域で働いている人の数}}{\text{その地域に住んでいる人の数}} \times 100$$

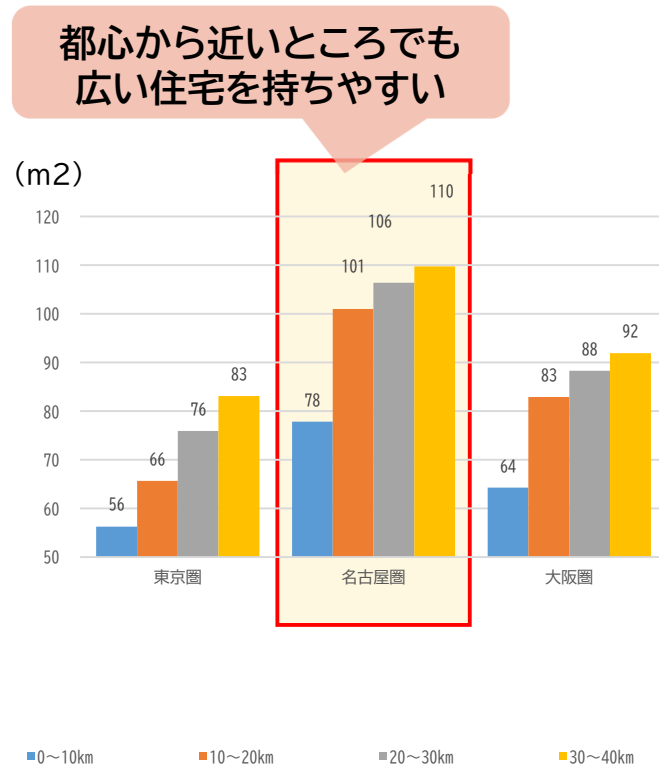
(出典)総務省「令和2年度国勢調査」より国土交通省作成

第1部 中部圏を取り巻く情勢

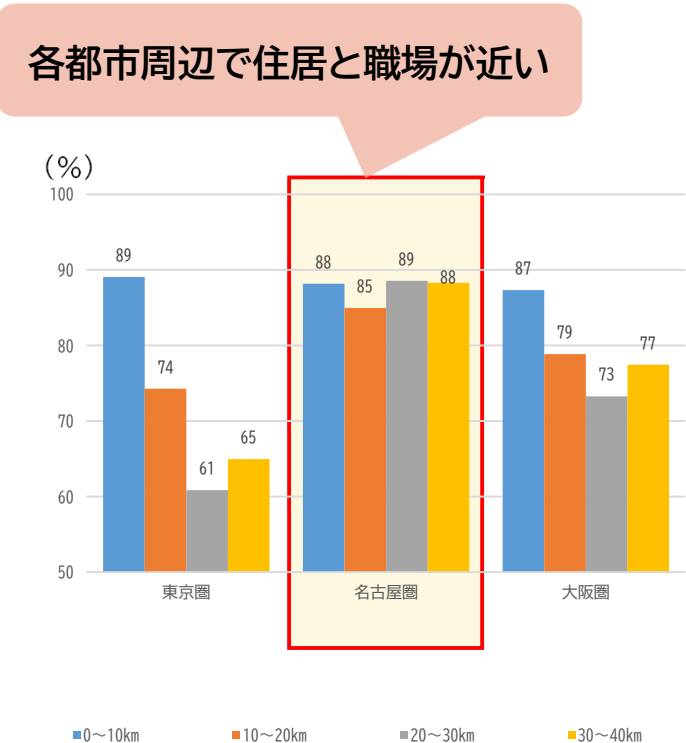
● 中部圏の特性および現状

● ゆとりある生活環境

都心からの距離別一住宅当たり延べ面積



都心からの距離別通勤1時間未満比率



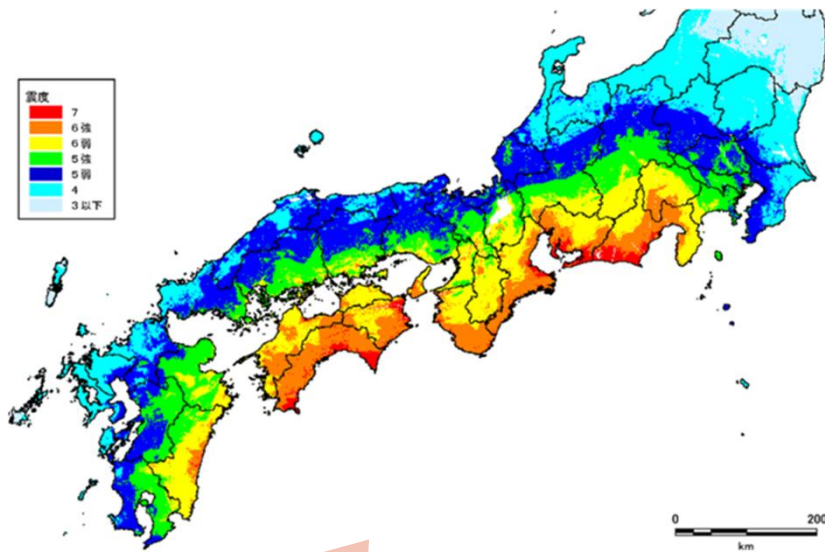
※東京圏、名古屋圏、大阪圏：旧東京都庁（東京都千代田区）、名古屋市役所（名古屋市中区）、大阪市役所（大阪市北区）を中心とする一定の半径の円内に含まれる町丁・字等の地域に住んでいる住民を対象（距離は都庁市役所からの自宅の距離）

（出典）総務省「令和5年住宅・土地統計調査確報集計」（2023年）より作成

第1部 中部圏を取り巻く情勢

● 中部圏の課題

● 南海トラフ地震等の切迫性



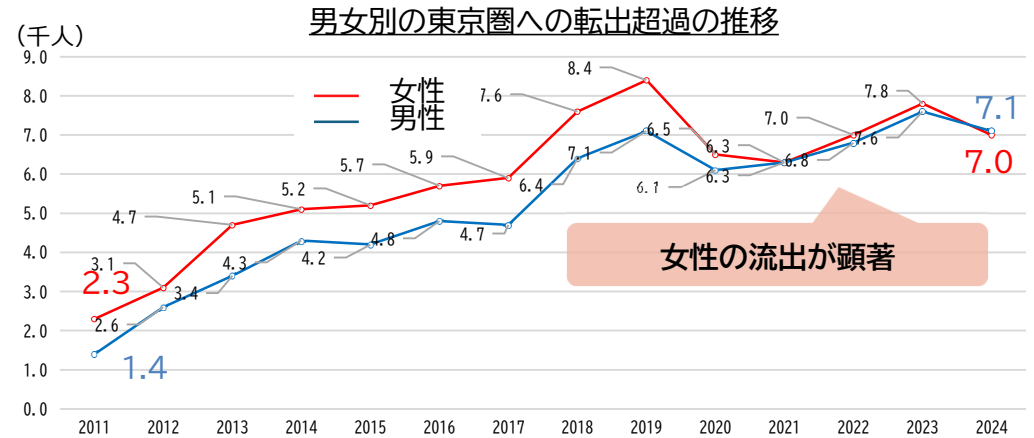
南海トラフで発生する
M8からM9クラスの地震30年以内の発生確率

60~90%程度以上

(2025年1月1日時点)

(出典)中央防災会議防災対策実行会議南海トラフ巨大地震
対策検討ワーキンググループ報告書 説明資料
※発生確率は、地震調査研究推進本部(R7.9)による

● 若者・女性の圏外転出

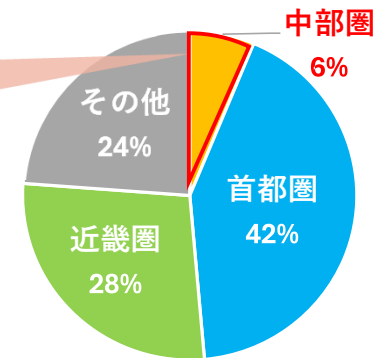


(出典)総務省「住民基本台帳人口移動報告」より作成

● 訪日外国人対応や観光産業の生産性向上

観光産業において、
他都市圏に後れを取っている

※令和6年確定値
(出典)国土交通省 観光庁
「宿泊旅行統計調査(年確定値)」より
中部地方整備局作成

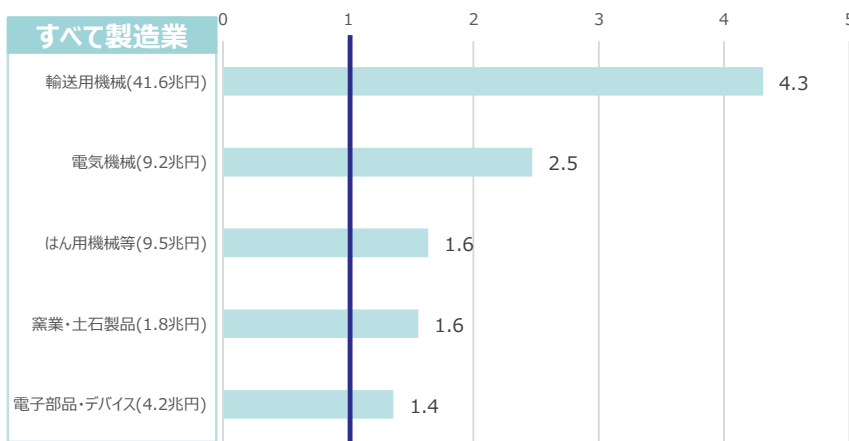


第1部 中部圏を取り巻く情勢

● 中部圏の産業等の強み

● ものづくり拠点としての強み

<データ①:産業別修正特化係数(生産額ベース)^{※1}>
(括弧内は生産額)

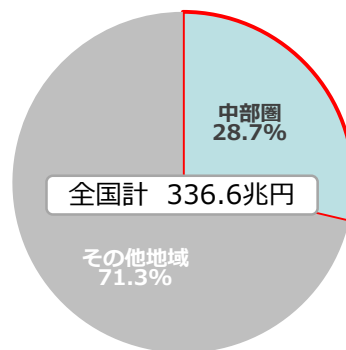


全国平均 = 1

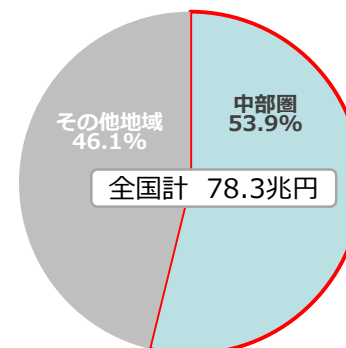
産業別修正特化係数(生産額ベース)(データ①)をみると、「輸送用機械」等の製造業に強みを有しており、ものづくり拠点として経済の発展に寄与

<データ②:製造業全体・輸送用機械における製造品出荷額全国シェア^{※2}>

製造業全体の全国シェア



輸送用機械の全国シェア



輸送用機械の製品出荷額は、全国シェアの半分を中部圏が占めており(データ②)、2050年カーボンニュートラル実現に向け、水素・アンモニアへのエネルギー転換ポテンシャルがある。

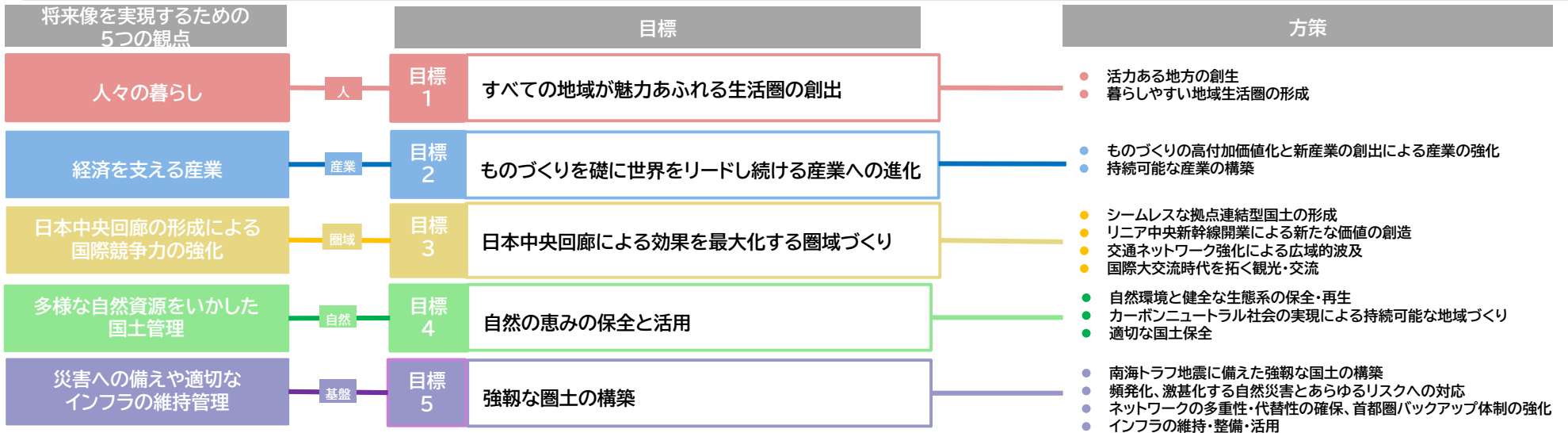
(※1)環境省、(株) 価値総合研究所「地域経済循環分析(2022年版Ver.9.1)」より作成。産業別修正特化係数(生産額ベース)とは、圏域内の産業別生産額構成比を全国平均と比較し、貿易を考慮した係数であり、同係数が1を超える産業は全国平均よりも強みのある産業(集積している産業)である。

(※2)「2023年経済構造実態調査/製造業事業所調査(地域別統計表データ) 令和7(2025)年8月29日掲載」より作成。

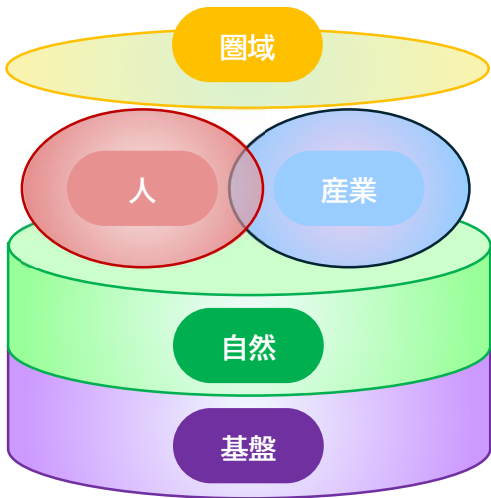
第2部 将来像とその実現に向けた目標、基本的な考え方と主な戦略

● 目指す中部圏の将来像

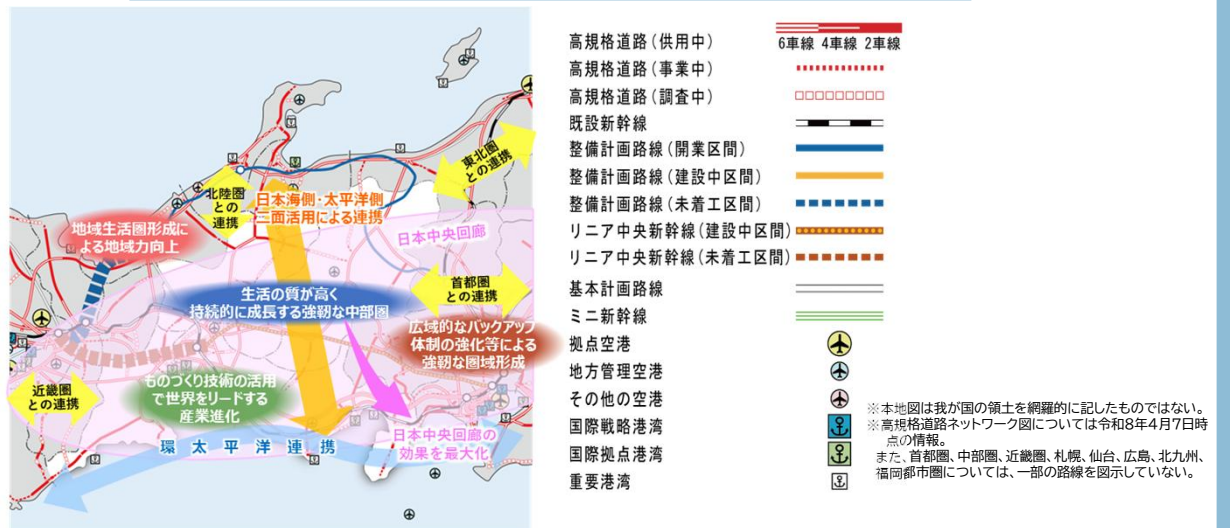
【将来像】= 中部圏で暮らす人々のWell-beingを向上するためのビジョン 生活の質が高く持続的に成長する強靱な中部圏



● 5つの観点のイメージ



● 2050年の中部圏(将来像)イメージ



PJ1 暮らしやすさ地域力向上や地域生活圏形成プロジェクト

- 地域の個性をいかしたまちづくりや地域経済強化、関係人口の拡大を推進
- 農林水産業の活性化や地域生活圏の形成による地域力の向上

<事業例>

複数の地方公共団体によるデータ連携基盤と先端技術を活用した広域にわたり生活を支えるデジタルサービスの推進、二地域居住等や関係人口増加の促進、副業・複業人材と地方の企業経営者の結びつけによる課題解決や新規事業につながる人材確保の推進 など

<地域生活圏とは>

人口減少や高齢化の中でも暮らしを維持することを目的に、住民が日常生活に必要なサービス（医療・福祉・教育・買物・交通等）を、身近な範囲で持続的に享受できるように、行政界を越えて形成する生活単位の圏域概念

地域生活圏



人材支援ハブ拠点「こちら三島の人事部」
【静岡県三島市・長泉町、神奈川県箱根町】

<地域生活圏形成に関する地域の取組事例>

美村パスポートで /

旅行が生活が
お得で便利に！

デジタル通貨「美村PAY」と連携し、地域内での消費と経済循環を促進

美村プロジェクト【美村Navi】

三重県「美村プロジェクト」

多気町を中心とする県中南部5町が連携し、生活・観光・経済機能を補完し合い、デジタル技術を活用して、持続可能な地域生活圏を形成することを目的とした官民連携の広域モデル

- 共通地域ポータル「美村Navi」 . . . 5町の情報を集約・発信するデジタル基盤
- 地域ポイントアプリ「美村パスポート」 . . . 5町内で利用可能なポイントの発行
- キャッシュレス決済アプリ「美村PAY」 . . . 5町共通のデジタル地域通貨

静岡県三島市・長泉町、神奈川県箱根町において、県境を越えて民金官が連携し、複業人材の地域定着化に向け、複業人材や地域企業のニーズに対応する総合窓口を開設し、企業と二地域居住者等を含む地域内外人材とのマッチングを実施。あわせて、複業人材や地域企業の情報等を専用サイトで効果的に発信することで、広域的な担い手不足を支援する基盤を形成し、地域全体の事業継続性の向上を図る取組。

第3部 新たな中部圏に向けた主要な施策 <目標 | 人 | >

PJ2 快適・安全安心な生活環境実感プロジェクト

- 移動や仕事等の暮らしの様々な場面における効率性や利便性、安全性、地域とのかかわりやすさ等の向上
- 誰もが快適で安全・安心な生活を実感できる生活環境の構築

<事業例>

『地域公共交通DX推進事業』等のAIオンデマンド交通やMaaSの導入検討 など



岐阜県地域公共交通DX推進事業
(恵那市交通コンシェルジュの取組)
【岐阜県資料】



愛知県「新モビリティサービス推進事業」
(東三河 MaaS「いこまい」)
【東三河 MaaS「いこまい」HP】

第3部 新たな中部圏に向けた主要な施策 <目標 | 人 | >

PJ3 ひとづくり・つながり構築プロジェクト

- 若者世代や女性、外国人など誰もが輝き活躍する社会、多様な人材を育てる社会の形成
- 地域の担い手の活動の場の確保やコミュニティの再生、官民連携による多様な主体の参画促進

<事業例>

大学生等の若者に向けた就労支援に関する情報発信や、『はままつ起業家カフェ』による起業に関するワンストップ相談窓口などUIJターン人材も含めた地域に定着する人材の育成確保 など

静岡県のおでかけ情報、就職イベント情報、県内で働く魅力などの情報を発信するホームページです。公式LINEでは、更新を随時プッシュ通知でお知らせしていますので、是非御登録ください。

HPやSNSで情報発信中!



静岡県で働く魅力



静岡県のおでかけ情報



就職イベント情報



保護者の皆様へ

静岡県による大学生等の若者やUIJターン人材に向けた就労支援の取り組み【静岡県資料】

日本一の起業家応援都市 浜松
はままつスタートアップ

夢をカタチに



月・金	9:00 - 19:15
水(祝祭日)	9:00 - 20:45
金(祝祭日)	12:00 - 17:00
土(第1・3)	12:00 - 17:00
休館日	日・祝・土(第1・3を除く) 年末年始

はままつ起業家カフェが実施するワンストップ相談窓口による創業促進の取り組み【静岡県浜松市資料】

PJ4 圏土強靱化プロジェクト

- 産学官民の各機関が連携した防災・減災のハード対策
- 広域のかつ実践的な地震・津波防災訓練等のソフト対策
- 事前防災から復旧・復興までの時間軸を考慮した対策
- ネットワークの多重性及び代替性の確保、首都圏バックアップ体制の強化

<事業例>

『流域治水プロジェクト』によりハード・ソフト一体となった事前防災対策を加速、伊豆半島及び紀伊半島における災害に強い基幹ネットワーク構築のため『伊豆縦貫自動車道』『近畿自動車道紀勢線』の整備推進 など



流域治水のイメージ
【中部地方整備局】



近畿自動車道紀勢線
【中部地方整備局】



新丸山ダム建設事業
【中部地方整備局】



伊豆縦貫自動車道
【中部地方整備局】

第3部 新たな中部圏に向けた主要な施策 <目標 | 産業 | >

PJ6 世界をリードする産業進化プロジェクト

- 高度なものづくり技術の活用による新たな産業の創出
- 国際競争に有意な産業構造への転換・基盤強化
- 戦略産業の強化、中堅・中小企業の振興
- 人材の育成・確保や産業を支える基盤の強化

<事業例>

水素・アンモニア等の次世代エネルギーのサプライチェーン構築及び産業界での普及促進に向けた『中部圏水素・アンモニア社会実装推進会議』による連携・協働体制の構築、『浜松湖西豊橋道路』『一宮西港道路』等、国際物流拠点とのアクセス向上に資する道路整備 など



碧南火力発電所と燃料アンモニアタンク
【JERA】

中部圏のサプライチェーンイメージ

多様な産業が広域に集積する中部圏において、経済性や供給安定性、安全性を助成し、それぞれの活用分野や地域に最適となる水素やアンモニアのサプライチェーンを構築する。



中部圏水素・アンモニア
サプライチェーンビジョン 概要
【中部圏水素・アンモニア社会実装推進会議】

PJ7 日本中央回廊まんなか圏域拡大プロジェクト

- リニア中央新幹線開業による新たな価値の創造や交通ネットワーク強化による圏域形成強化
- アクセス性の良さと住みやすさをいかし選ばれる地域としてのポテンシャル強化

< 事業例 >

『名古屋駅ターミナル機能の強化』、『リニア岐阜県駅（仮称）』及び『リニア長野県駅（仮称）』の新設、リニア駅周辺の面的整備 など



リニア長野県駅(仮称)周辺及びその近郊まちの未来図(案)たたき台
【長野県飯田市資料】



名古屋駅ターミナル機能の強化
(名古屋駅駅前広場再整備の基本的な考え方)
【愛知県名古屋市資料】



リニア岐阜県駅(仮称)周辺エリアイメージ
【岐阜県中津川市資料】

第3部 新たな中部圏に向けた主要な施策 <広域連携>

PJ8 新時代の観光交流促進プロジェクト

- MICE機能の拡充・強化や 国際的なスタートアップ・エコシステムの構築
- マルチモーダルな周遊観光ルートの形成
- 国際的な広域観光交流

<事業例>

地域ならではの訴求性の高い体験コンテンツの造成、観光地や観光産業の再生と高付加価値化、『昇龍道』『Central Japan』の名称による北陸圏と連携した広域プロモーションの推進 など



愛知県国際展示場「Aichi Sky Expo」
【Aichi Sky Expo HP】



広域連携観光戦略の推進・強化
【中央日本総合観光機構作成パンフレット及びHP】

PJ9 他圏域連携プロジェクト

- 大規模災害を見据えた圏土の強靱化
- 日本中央回廊形成を見据えた広域ネットワークの強化
- 太平洋・日本海交流連携の強化

<事業例>

北陸圏、中部圏の産学官の関係機関が連携した産業進化にむけた半導体に関する人材確保・育成に関する取組『中部地域半導体人材育成等連絡協議会』など



半導体に関する
人材育成プログラムと業界パンフレット
【中部経済産業局】



キオクシア・ウエスタンデジタル(三重県四日市市)
【中部経済産業局作成 業界PRパンフレット】

● 計画の推進管理等

1. 多様な主体の参画・協働

<一体的な推進体制>

- 本計画の推進に当たっては、協議会構成員を始めとした国、県、市町村、経済界等の多様な主体が、十分に連携・協働を図りつつ、計画が描く将来像の実現に向けた各種施策の展開・具体化を推進する。

<多様な主体との連携>

- 本計画を推進するため、行政のみならず、住民・NPO・大学・企業等の多様な主体を地域づくりの担い手と位置付け、これらの主体が従来の公の領域に加え、公共的価値を含む私の領域や、公と私との中間的な領域で協働するという考え方に立って、多様な民間主体の発意・活動を積極的に地域づくりにいかす取組を促進する。

2. 他計画・施策との連携

- 隣接圏域の広域地方計画はもとより、社会資本整備重点計画及び同計画に基づく中部ブロックにおける各種計画との整合を図り、連携を強化する。

3. 計画の進捗管理

- 本計画の実施に当たっては、その評価・見直しを効率的かつ効果的に実施していくため、プロジェクトの進捗管理に資するモニタリング指標に基づき、本計画のモニタリングを適切に行う。また、中部圏におけるモニタリングの結果や全国計画に係る政策評価の結果等に応じ、個々の施策・プロジェクトや本計画の見直しを行うなど必要な措置を講じる。